

国際大会 子ども達に経験・体験を

馬淵 紀明議員

大きなチャンスPRをしなければ

教育長



▲アジア競技大会の周知チラシ

問 スポーツ大会やイベントを行うことについて市の考え方は。

答 市民の誰もが、それぞれの能力や体力、状況に応じて、気軽にスポーツを楽しみ、継続的にスポーツ活動ができる機会として、定期的開催していきたい。

また、令和8年には長良川国際レガッタコースでアジア競技大会が開催される。市外やアジア諸国の方が参加するので、周知活動の充実を図る等、大会を盛り上げていきたい。

問 市の活性化や交流人口、関係人口の拡大につなげていくためにも、市内外から参加者が訪れる新たなスポーツ大会やスポーツイベントを企画してはどうか。市の見解は。

答 木曽三川公園リレーマラソンは、4年度をもって大会が終了した。それに代わる新たなスポーツイベントを5年11月頃に開催予定だ。

問 アジア競技大会は、以前から期待しているが、

国際大会を見る機会やトップアスリートと出会うチャンスがあると思う。子ども達にそういった経験・体験をしてほしいが、教育長の考えは。

答 大きなチャンスなので、子ども達をはじめ、市民も含めてPRをしなければと思っている。

道の駅利用者の安全・暑さ対策は

問 出入口等の安全対策は。

答 道の駅及び都市公園の出入口をそれぞれ複数箇所設けることで、公園利用者にとってスムーズとなり、駐車場の安全性の確保及び渋滞の緩和に努めたいと考えている。

問 指定管理募集要項に、利用者の安全対策やパーゴラの増設などの暑さ対策を含めることは可能か。

答 募集要項などを整理する中で組み込んでいくことを考えている。

問 道の駅周辺整備事業では、夏の暑さ対策をどのように考えているのか。

答 令和4年11月に実施したサウンディング調査で、日陰が少ないという意見があり、日陰面積を増やすためパーゴラを追加する計画とした。また、東ゾーンには高木の落葉針葉樹を植樹する予定。夏場には日陰ができ、冬には落葉して日光が公園に届くような設計とした。